

ドイツ連邦食料・農業省
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 7

NO 7

2016・2・20

1 牛乳一肉生産者の支払能力支援プログラム：第2ラウンドの申請を

最初の申請ラウンド（段階）で7,830件の申請は、この間に殆どが受理され、そして処理された。これによると、困窮に陥っている牛乳一肉生産者に対して、援助額約1,300万ユーロ（約16億9,000万円）が支出される。そのため、新しい申請は2016年3月22日まで、第2申請ラウンドにおいて応募できる。

さらに連邦農業大臣が説明した：“我々は、農業者の支払い能力を目に入れている。特に安い生産者価格に直面している牛乳一肉生産者は、今支払い能力支援補助金の新しい申請応募ができる。同時に我々は、これらの経営に対して幾分かの財政的裁量の余地を、手にしている。ドイツとヨーロッパ農業者の世界市場への必然的な適応は、政治的政策を通じて我々の可能性の分野において、さらに支援する。さらに私は、ヨーロッパの同僚大臣との交流に尽力する”と、シュミットは述べた。

ドイツのために活用できるヨーロッパ委員会の補助金は、総額6,920万ユーロ（約89億9,600万円）の中から、第2申請ラウンドのために、1,300万ユーロ（約16億9,000万円）の額を充当できる。この申請は、2016年2月22日から3月22日まで可能である。その際、特に農業経営が財政支援を必要とする前提条件つきであることは、変わらない。第2ラウンドの申請において承認される補助金額が、今ある支出可能な財源を上回る場合は、そのオーバーした額に応じて補助金が縮減される。

背景

連邦農業省は、家畜飼育者の困難な経営状況に基づいて、該当する農業者に2015年11月21日から12月18日まで、最初の申請ラウンドにおいて支払能力支援プログラムについて、申請できる可能性を供している。予定している全財源が支出されていないので、2016年2月22日から第2ラウンドに入っている。申請該当者は、依然として牛乳・肉生産者である。これは、自らの支払能力確保のために、ローンを開始しそして自らの生産物の19%の価格低下が、証明されることを必要とする。

連邦食料・農業局（BLE）は、第1ラウンドにおける申請を事務処理し、認可した補助金を迅速に支払いする。6,280件の申請は牛乳生産者に、1,550件の申請は肉用家畜の飼育者に該当する。地域的には、最も多くの申請者はバイエルン州（2,499件）、次いでニーダーザクセン州（1,894件）、ノルトライン・ヴェストファーレン州（1,203件）の順になっている。申請の一部は、所管局から拒否された。なぜならば、援助認可のための前提条件を、満たしていなかったからである。例えば、19%の価格低下またはローンの額が証明できなかったこと。

2 森林政策に関する科学委員会が連邦政府に提言を 一森林における生物多様性が改善されている一

連邦食料・農業省の政務次官 Dr.ペーター ブレーザーは、森林政策に関する科学委員会（WBW）の提言を受け取った。第3回連邦森林調査結果について、科学委員会の分析の中で森林面積が、増加しているとの報告がされた。また、効果的に炭素蓄積量を保ち、そして増大する木材蓄積量とともに、木材利用が上昇している。同時に生物多様性が、改善されている。

科学委員会は、林業が持続的に活動し、そして森林に対する社会の多様な要請に、的確に対応していることを証明している。例えば、エコロジー、経済、保養そして気象保護の分野において、適切にバランスをとっていることなど。林業経営の収益状況とドイツの木材工業への原料供給は、針葉樹の若返りの不十分さによって、長期的に危うくなっている。”我々の原則は、使用を通じて森林を守る”ことである。私の目的は、持続的な森林管理である。なぜならば、森林は自然を守り、環境のために大きな意義をもつ炭素蓄積者であるから”と、ブレーザーは強調した。

” 針葉樹は、ヨーロッパでも先導的な位置にあるドイツの木材業への重要な原料基盤である。私は森林と木材業を保ち、そして持続的な木材利用によって、気象保護をさらに強化し、生態系多様性の保持に尽力している” と、政務次官は続けた。森林政策に関する科学委員会は、チューネン研究所の研究内容を支持している。第3回連邦森林調査の結果は、「2020 森林戦略」の目的に反映される。

” 我々は、科学委員会の提言をまず第一に取り入れる。我々の森林における生物多様性の発展は、非常に前向きなものである。我々は、農村地域において多くの就業の場を確保し、彼らの経済的結果の基盤としての林業—木材業もまた、確保されなければならない” と、政務次官が述べた。

背景

森林政策に関する科学委員会（MBW）は、森林の持続的な管理に係る大枠条件の形成に際して、連邦政府に助言し支援する。この委員会は、様々な専門領域の代表者でもって、構成されている。これら専門家は、3年前に連邦政府から招集された。委員会は、森林に対する社会的要請を反映している。

森林政策に関する科学委員会の構成

役 職	所 属	氏 名
委員長	北ドイツ林業研究所 所長	Dr.Hermann Spellmann
委員長代理	ウィーン大学 景観発展—保養—自然保護計画研究所（オーストリア）	Prof.Dr.Ulrike-Haider
委 員	フライブルグ大学 林業科学研究所	Prof. Dr. Jürgen Bauhus
委 員	ドレスデン技術大学 林業生態学・林業施設 研究所	prof. Dr.Andress W.Bitter
委 員	チューネン研究所 林業生態学研究所	Prof .Dr. Matthias Dieter
委 員	ワーニンゲン大学 コミュニケーション戦略グループ長（オランダ）	Prof. Dr. PeterFeindt
委 員	ドレスデン技術大学 畜舎—木造建築研究所	Prof. Dr.Ing. Peer Haller
委 員	ポツダム ホルムヘルツセンター科学部会長	Prof. Dr .Dr. h.c.Reinhard F. Hüttl

委員	フライブルグ大学 林業科学研究所	Prof. Dr. Friederrike Lang
委員	コペンハーゲン大学 (デンマーク)	Prof. Dr. J øorgen Bo Larsen
委員	ゲッチンゲン大学 林業経済・林業設備 研究部長	Prof. Dr. Bernhard Möhring
委員	ハンブルグ大学 ジャーナリズム・コミ ニケーション科学研究所	Prof. Dr Irene Neverla.
委員	ゲーテ・フランクフルト大学 エコロジ ー・生物進化・多様性研究所	Prof. Dr. Manfred Niekisch
委員	ミュンヘン技術大学 林業科学講座	Prof. Dr.Klaus Richter
委員	連邦本部	Prof. Dr.Hubert Weiger
事務局長	連邦食料・農業省 531 課	Dr.Eckard Heuer

2016・2・22 訳

青森中央学院大学

中川 一徹